

連峰 *Renpoh*

No.362

発行日●令和6年1月31日
発行人●輝山会記念病院
編集IMH広報委員会
長野県飯田市毛質1707番地
TEL0265-26-8111(代)

本年もよろしくお願いいたします

IMH基本方針(2024)発表



目次

- P2 年頭のご挨拶
- P3～P4 IMH基本方針(2024)
- P5 地域医療研修を終えて
- P6 看護学生対象 病院見学会・説明会 開催のご案内



輝山会のホームページから、過去の連峰もご覧いただけます。
その他、病院の情報も更新していますのでぜひご覧ください。
広報誌の郵送をご希望の方は、お気軽にお問合せください。

ホームページ



年頭のご挨拶

理事長 土屋 公威



このたびの能登半島における大規模な地震により被災されました皆様、及びその関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

大変心を痛める出来事とともに令和6年が幕を開けました。旧年中、当法人の運営に対し格段のご支援、ご高配を賜りました皆様に、改めて厚く御礼申し上げます。

令和6年は甲辰（きのえたつ）の年。エネルギーを蓄え大きく成長して活力に満ちたものがいよいよ実を結ぶ年だそうです。当法人としましてもこれまでの努力が良い形となって素晴らしい飛躍の一年になることを期待しております。

常に地域の皆様に信頼され必要とされる病院になることを目指して、全職員が一丸となり十分な力を発揮できるよう精進してまいります。

2024年が、皆様にとりまして、まずは平穏でありそして昇龍のごとく発展する一年となりますことを祈念いたします。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



IMH(飯田メディカルヒルズ)基本方針(2024)

院長 露久保 辰夫



新年あけましておめでとうございます。

今年の冬は地球温暖化の影響からか、いつになく暖かい日が目立つ冬となっています。昨年からの年越しは氷点下にならず、よい初詣日和になりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

当院では毎年年初めにその年の基本方針というものを策定しています。そこで本日は今年の当院の「基本方針 (2024)」についてご説明したいと思います。

さて、去年の記憶に残る出来事といえば、世界に目を向けると、一昨年からのロシアとウクライナの戦争状態はいまだ休戦の見通しは立たず、加えて新たにイスラエルとパレスチナの紛争も始まり、また中国の強権的な行動もますますエスカレートして、世界中いたるところに民族間・宗教間・国家間の火種がくすぶり燃え続ける状態が続いています。

そんな中、毎年恒例の話題となりました新型コロナウイルス感染症も、昨年5月には「5類感染症」に変更になり、人々の動きがコロナ前に近い状態に戻ってまいりました。とはいえコロナウイルスが消滅したわけではなく、従来のインフルエンザと同様毎年の流行に対し個々人で感染対策を行い、上手に付き合っただけでなければならなくなりました。

また、冒頭でも引き合いに出しました地球温暖化の影響で昨年の夏から秋にかけて記録的な猛暑となり、熱中症に対する対策も毎年必須となってまいりました。



かように皆さまの健康を脅かす要因が数多くみられる状況のなか、当院は本年も引き続き皆さまの健康管理の手助けを行い、ウェルビーイング（身体的、精神的、社会的に良好な状態）の一助となるような「かかりつけ病院」を目指してまいりたいと思います。そのためには定期的な質の高い健康診断が必要であり、また地域の皆さまが住み慣れた地域で末永く暮らせるよう、質の高いリハビリテーションと質の高い在宅医療が提供できるよう努めてまいりたいと思います。もちろんIMHのルーツである透析医療でも引き続き地域の基幹病院として努めてまいりたいと思います。

新たな年が明けて早々能登半島地震が発生し津波が襲うという、まるで東日本大震災の再現のような災害が発生しました。また、その翌日には羽田空港での日本航空機と海上保安庁機との衝突事故という信じがたい事故が発生いたしました。自然現象であれ、人為的なものであれ、私たちはいつ災害にみまわれるかわからない、先の見通せないVUCA（ブーカ：予測不可能）な時代に身を置いていることを痛感いたします。

そのような時代においても私共IMHグループは、地域のコミュニティホスピタルとして皆さま方のウェルビーイングを守るべく寄り添ってまいりたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

基本方針（2024）

- ▶ 感染症や災害に対する備えをより一層確実なものとして、地域の皆様の「かかりつけ病院」として地域の皆さまのウェルビーイングを目指します。
- ▶ 地域の皆様が最期まで住み慣れた場所で安心して過ごせるよう、質の高い在宅医療を目指します。
- ▶ 関わる全ての人々が安心して永く暮らせるようチーム連携を強め、質の高いリハビリテーションを提供します。
- ▶ 透析患者さん個々に合った透析治療が安心して受けられるよう、安全かつ適正な透析医療の提供を目指します。
- ▶ 健診センターの充実をはかり、質の高い人間ドック／健康診断を提供して、より多くの地域の皆様の健康を守ります。

地域医療研修を終えて

研修を終えた、飯田市立病院 初期研修医 山岡 真子 先生、大崎 史明 先生 の感想をご紹介します。

飯田市立病院初期研修医の山岡真子と申します。この度は、地域医療研修にてお世話になりました。新患外来、診療所、病棟、訪問リハビリ、訪問看護、産業医活動など地域医療の幅広い活動を経験できました。

訪問診療では、生活背景や考えの違い、それにより対立する問題、そうした問題に対し多くの方が協力して患者さんの生活を支える姿を見ることができました。患者さんやご家族の生活を直接見ることで、ただ病気を治療するのではなく、患者さんの生活を良くする診療を行いたいと改めて実感しました。

また、嚥下機能検査やNST回診にも参加させて頂き、嚥下や栄養に関する取り組みを知ることができました。共同スペースで食事される光景が印象に残っており、患者さんの病態や嗜好に合わせた対応を、実際に見て学ぶことができました。

4週間という短い期間でしたが、急性期病院である飯田市立病院とは異なる環境で、多くのことを学ばせて頂きました。お忙しい中、先生方やスタッフの方々に手厚くご指導頂き、無事に研修を終えることができました。学んだことを糧により精進してまいります。心から感謝申し上げます。



飯田市立病院研修医の大崎史明と申します。地域医療研修として、輝山会記念病院で4週間大変お世話になり、ありがとうございました。

厚生労働省によると、研修医の地域医療研修の到達目標は、「地域医療の特性および地域包括ケアの概念と仕組みを理解し、医療・介護・保健・福祉に関わる種々の施設や組織と連携できる。」となっています。

輝山会記念病院での研修では、急性期から慢性期まで幅広い外来診療、急性期病棟・回復期リハ病棟・療養病棟・老健施設など色々な目的の病床、大きな病院から離れた地域の診療所や訪問診療・リハ、さらには保育園に至るまで、地域医療・福祉の現場を幅広く経験し、実践することができました。

毎日色々な場所に伺いましたが、どこに行っても上級医の先生方・現場のスタッフの皆様に分かりやすくまた優しくご指導頂き、新しいことにも挑戦しやすい素敵な環境でした。輝山会記念病院での研修を終えた今、「到達目標を達成してきました!」、と誰にでも自信を持って言える、そんな充実した1か月でした。

この1か月で学んだことを糧にして、患者さん中心のチーム医療が実践できるような医師を目指して、さらに精進してまいります。

この度は1か月間お世話になり、本当にありがとうございました。



看護学生対象 病院見学・説明会 開催のご案内

当院では令和6年3月9日（土）に、看護学生を対象とした病院見学会・説明会を開催します。法人グループの概要説明、施設見学、看護職員との懇談などを行い、説明会の最後には、当院総合健診センターで提供しているドック食を召し上がっていただく予定です。

当院の看護師がどんな雰囲気で行っているのか、実際に見ていただけます。また、当日召し上がっていただくドック食は、四季折々のメニューを提供しており、人間ドックをご利用の方からも大変好評なものですのでお楽しみに！

既卒の方も大歓迎です！皆様のご参加をお待ちしています！



日 時：3月9日（土） 10：00～12：30（予定） 受付 9：30～

会 場：輝山会記念病院内

実施内容：病院概要の説明（福利厚生・研修制度）
病棟説明、院内見学、先輩看護師との懇談

皆様からの参加をお待ちしております。

なお、新型コロナの感染状況によっては変更となることもありますのでご了承下さい。

申し込み・問い合わせ先

（医）輝山会記念病院

長野県飯田市毛賀 1707

TEL：0265-26-8111 FAX：0265-26-9690

E-mail：t.shiozawa@kizankai.or.jp

なお、申し込みの際に氏名、学校名、連絡先をお願いします。

申し込み期限 3月2日（土）まで